

# 収蔵史料でふり返る 上州・群馬の災害・疫病

～天明三年浅間焼け災害を中心に～

展示期間 令和5年3月4日（土）～7月9日（日）

令和5年(2023)は、天明3年(1783)の浅間焼け(浅間山大噴火)から240年の節目の年になります。今回の展示では、江戸時代の天明年間に上州を襲った未曾有の火山災害の様相を収蔵史料からふり返ります。

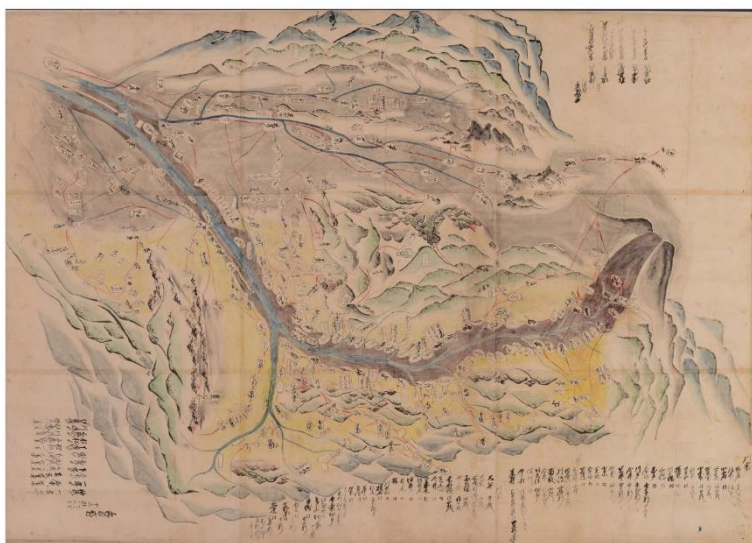
また、防災や減災、公衆衛生の観点から、近代以降における群馬県の火山災害や疫病への対策に関する収蔵史料をあわせて展示します。

なお、この展示は「浅間山大噴火から240年・『天明三年』を語り継ぐ」と題した複数の博物館連携企画です。



## 1 絵図と年表でみる浅間焼け

① [天明三年浅間山噴火被害絵図] 年次不詳(天明3年カ) \*彩色 縦82.6cm×横115.8cm



(天明三年浅間山噴火被害絵図) 縦82.6cm×横115.8cm、軸装 天明3年カ(1783年) 狩野一郎家文書 P1303 No.1

浅間山の大噴火により発生した「土石なだれ」が北麓の村々をのみこみ、「天明泥流(てんめいでいりゅう)」となって吾妻川、さらには利根川沿岸の村々を埋め尽くした様子や各地の降灰の様子が広範囲にわたり色分けで表現された珍しい絵図です。

絵図の上部を南方向にして村々の位置や景観などが詳細に描かれ、深刻な被害状況が文字でも記されています。

(狩野一郎家文書 P1303 No.1)

## 2 天明三年浅間焼けと上州

### 天明三年浅間焼け

天明3年(1783)の浅間山の噴火は旧暦の4月9日から始まり、日を追うごとに激しさを増し、7月8日午前、北麓において大爆発を起こします。

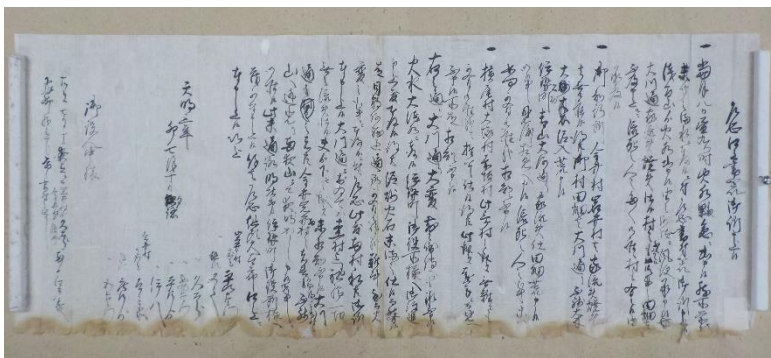
この大爆発により発生した「土石なだれ」は、北麓にあった鎌原村・芦生田村などの村々を埋没させました。さらに「土石なだれ」は吾妻川に流れこみ、一時的に川をせき止めた後決壊し、「天明泥流」となり吾妻川を一気に押し下り、川筋の耕地や村落に大きな被害をもたらしました。利根川に合流した「天明泥流」は、遠方の江戸や銚子に一日で達したといわれています。

その被害は、被害村落 55 か村、流失家屋 1151 軒、流死人 1624 人、田畑泥入り高 5055 石に及ぶとされています。また、噴火による降灰が関東から東北地方の広範囲に広がり、農作物への甚大な被害をもたらし、天明の飢饉を誘発したといわれています。

ここでは災害の発生から犠牲者の供養までを当館が収蔵する貴重な史料でふり返ります。

### (1)被害の様相

#### ③〔乍恐口上書を以御訴申上候〕 天明3年(1873) 7月10日

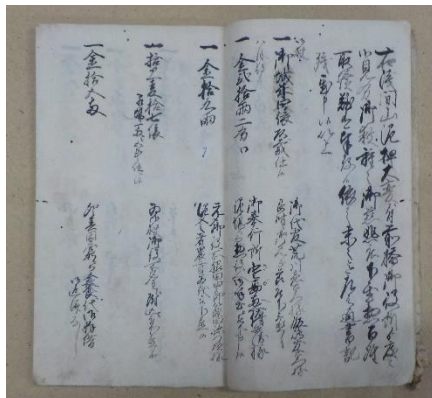


(伊能光雄家文書 P8003 No.1120)

大噴火から2日後、吾妻川南岸に位置した岩井村・金井村(現吾妻郡東吾妻町岩井・金井)の村役人から領主である旗本保科家に宛てられた被害第一報の控です。7月8日昼九ツ時(正午頃)に吾妻川が泥流のため過去に見聞きしたことがないほど大增水し、川沿いの田畑が大木や大石、砂・泥の流入で荒廃したこと、村人が両夜(二晩)山に逃げ込み避難生活をしたことなどが克明に記されており、吾妻川流域の村々の緊迫した様子が伝わってきます。

### (2)被災者支援

#### ⑪〔浅間山焼覚〕(部分) 天明4年(1784) 11月



新堀村(現前橋市新堀町)の村役人が浅間焼けの一件について記録した覚書です。これによると被災後に前橋藩から度々の救援(食料や現金の支給)が村に対して行われたことがわかります。特に前橋藩が被災直後に見分のための役人を遣わし、城の備蓄米4俵(約240kg)を支給したという記述からは、未曾有の大災害に対して迅速に対応し、領民を救済しようとした前橋藩の姿勢が見て取れます。

この対応はまさに「末々迄(すえずえまで)」伝えるものとして書き留められました。

(前橋市新堀町自治会文書 P8209 No.29)

### (3)社会不安の増大

⑭〔日記控帳〕(部分) 天明3年(1873)

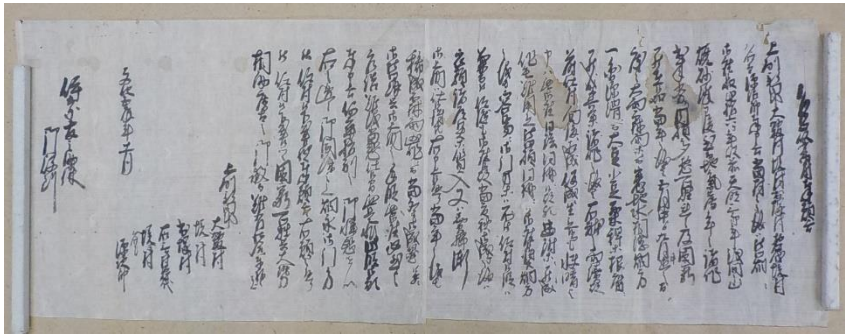
勢多郡龍蔵寺村(現前橋市龍蔵寺町)の村役人が残した記録の天明の浅間焼けに関する部分です。村から派遣していた人足が泥流に襲われたこと、村から問屋に卸した米が泥入りになってしまったこと、農作物が育たず年貢を減免してもらったことなどが細かく書かれています。特に10月中に前橋で20軒ほどの打ちこわしが発生し、幕府と藩の双方からの取り締まりがあったという記述からは、浅間焼け後の不穏な社会情勢を読み取ることができます。



(前橋市龍蔵寺町自治会文書 P8303 No.14)

### (4)復興への歩み

⑮〔乍恐以書付奉願上候〕 文化5年(1808)辰11月



(福島英一家文書 P0110 No.1284)

佐位郡境村(現伊勢崎市境東)の名主源次郎が、幕府代官伊奈友之助に対して提出した嘆願書の控です。天明3年の浅間焼け以降、天候不順によって農作物が実らず、生活が困窮しているため年貢を減免してもらいたいという内容が書かれています。年貢減免の方便として25年前の浅間焼けが持ち出された可能性も考えられますが、地域によっては復興にかなりの年月を要したことが想像されます。

### (5)供養

⑯〔浅間山焼崩供養塔石碑銘〕 年次不詳(近世)

吾妻郡東吾妻町原町の善導寺(浄土宗)の門前に建つ天明8年(1788)建立の供養塔裏面に刻まれた銘文の写と思われます。文字が苦手な者でも読むことができるように、かな書きで難解な表現を避けたことが書かれています。天明の浅間焼けという激甚災害の犠牲者を「供養」することが、災害の経験を忘れずに多くの人々に「語り継ぐ」ことにつながるという、被災地の建立者たちの強い願いが、この銘文からは感じられます。



(富澤久幸家文書 P0905 No.154)

## 2 収蔵史料で振り返る群馬の災害と疫病

天明三年浅間焼け以降も浅間山は噴火活動を繰り返しており、国・群馬県・県内市町村や関係機関は連携協力し、現在では常時観測・監視しながら噴火に対応する体制を整えてきました。『公文書で見る浅間山の噴火』では、昭和48年の中規模噴火に関する公文書を中心に噴火に対応する関係諸機関の取組みを紹介します。

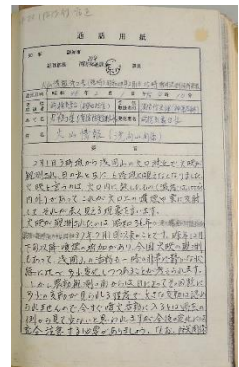
また、明治政府の内務省衛生局設置（明治8年・1875年）と同時期に群馬でも学務課衛生係を設置（当時は熊谷県）し、それ以来病気の予防や治療、衛生教育によって県民の健康増進を目指してきました。『近代群馬の疫病対策』では疫病に関する公文書を紹介し、現在も喫緊の課題である公衆衛生のあり方を考える契機とします。

### (1) 公文書で見る浅間山の噴火

㉑ [火山対策]「火山情報（浅間山関係）」 昭和48年（1973年）2月1日

軽井沢測候所発表（昭和48年2月1日15時）の火山情報第2号（臨時）について知らせる公文書です。浅間山は昭和に入っても繰り返し噴火をしており、噴火の警戒が特に必要な火山の一つです。この文書には、浅間山の火口付近で午前3時頃に火映が観測されたこととその説明、浅間山の活動に変化が見られることなどが記載されています。また、震動観測にも触れ、今後の変化に十分注意する必要があることを述べています。目視や震動観測など複数のデータをもとに噴火に備えていることが分かります。

この日の午後7時20分に浅間山が噴火しました。噴火は中爆発で、同じ規模の噴火としては昭和36年（1961）年以来の噴火でした。



（群馬県行政文書 A0190B00 84）

### (2) 近代群馬の疫病対策

㉒ [参考書（医師会、医師会令、阿片法、患者数表、その他）] 大正9年（1920）  
流行性感冒（スペイン風邪）予防に関し実検上有効なりと認めたる事項



流行性感冒への対応について記載された「衛生事務会議」（郡市衛生主任書記・衛生主任巡査出席）の資料です。県内各警察署がその予防について実情から有効と認めた事項について記載しています。

主な事項として次の3点が列挙されています。

- ① 流行地を図解掲示、または印刷物・統計等を示して予防警戒心の喚起に努めること
- ② 予防注射・マスクの使用は有効なのでこれを推奨すること
- ③ 患者の隔離、集会会食の禁止、または本病を法定伝染病に加えるか、本県警察犯処罰令中に加え医師より患者を届出させること

（群馬県行政文書 A0181A0T 601）

〒371-0801 群馬県前橋市文京町 3-27-26

TEL:027-221-2346 Fax:027-221-1628

E-mail : [monjyo@pref.gunma.lg.jp](mailto:monjyo@pref.gunma.lg.jp)



# 令和4年度 テーマ展示2「収蔵史料で振り返る上州・群馬の災害・疫病 ～天明三年浅間焼け災害を中心に～」

期間：令和5年3月4日（土）～7月9日（日）

No.	史料表題(古文書表題・公文書件名)	和暦年	西暦年	月日	古文書文書群名・ 公文書簿冊名等	請求番号・ 受入記号	文書 番号	形態	展示 形態
<b>1 絵図と年表でみる浅間焼け</b>									
(1)近代以前の浅間焼け(年表と絵図)									
①	〔天明三年浅間山噴火被害絵図〕	(天明3年力)	1783		狩野一郎家文書	P1303	1	絵図1冊	タペストリー
②	〔天明癸卯帖 二〕※松井素輪俳諧日記(松井素輪による浅間焼け被害絵図)	天明3年	1783		松井家旧蔵文書	P01013	805	1冊	パネル
(2)明治以降の浅間山の主な噴火(年表)									
<b>2 天明三年浅間焼けと上州</b>									
(1)被害の様相									
③	〔乍恐口上書を以御訴申上候〕(浅間焼け被害状況報告)	天明3年	1783	7月10日	伊能光雄家文書	P8003	1120	継1通	複製
④	〔浅間焼け吾妻川沿い岩井村泥押し被害図〕※泥押部分図別に有	年不詳			伊能光雄家文書	P8003	1454-2	絵図1冊	パネル
⑤	〔差上申一札之事〕(浅間焼け泥押し潰地等被害書上)	天明3年	1783	8月	伊能光雄家文書	P8003	1330-1	縦1通	パネル
⑥	〔利根川出水の節流馬に付触〕(利根川に漂着した馬の処置命令)	天明3年	1783	8月	天田壮家文書	P08105	857	1通	パネル
⑦	〔乍恐以書付奉申上候〕(当蚕出来方如何二候哉御尋二付)	天明4年	1784	5月	飯塚馨家文書	P8214	3449	縦1通	複製
⑧	〔田畑泥入御書上帳〕(浅間山噴火による泥入被害田畑書上)	天明3年	1783	10月	前橋市新堀町自治会文書	P8209	6	縦1冊	複製
(2)被災者支援									
⑨	〔飢人扶持米遣ス帳〕(お救米援助記録)	天明3年	1783	12月	伊能光雄家文書	P8003	1230	横半1冊	パネル
⑩	〔乍恐以書付奉申上候〕(浅間焼け御救金二両下付につき小前割渡し請書)	天明3年	1783	8月	伊能光雄家文書	P8003	1111	縦1通	複製
⑪	〔浅間山焼覚〕(領主による被災地支援の記録)	天明4年	1784	11月	前橋市新堀町自治会文書	P8209	29	縦1冊	複製
(3)社会不安の増大									
⑫	〔御触書〕(浅間山焼大變にて諸色高値にて米穀ノ売高値売買禁止に付請書)	天明3年	1783	9月	神戸金貴家文書	P8213	224	縦1冊	複製
⑬	〔御触写〕(時疫流行に付)	天明4年	1784	5月8日	天田壮家文書	P08105	1036	縦1冊	パネル
⑭	〔日記控帳〕(安永3年～文久元年12月の村記録)	天明3年	1783		前橋市龍蔵寺町自治会文書	P8303	14	縦1冊	パネル

No.	史料表題(古文書表題・公文書件名)	和暦年	西暦年	月日	古文書文書群名・ 公文書簿冊名等	請求番号・ 受入記号	文書 番号	形態	展示 形態
<b>(4) 復興への歩み</b>									
⑮	〔乍恐以書付奉願上候御事〕(浅間焼け被害荒所見分願い)	天明3年	1783	7月30日	伊能光雄家文書	P8003	1117	豎1通	複製
⑯	〔上・武・信州泥入砂降り場所御救普請触書〕(幕府からの復興支援通知)	天明3年	1783	11月4日	伊能光雄家文書	P8003	1182	切継1綴	複製
⑰	〔新堀村泥入名寄帳〕(泥入れ田畑の起返し記録)	文化10年	1813	4月12日	前橋市新堀町自治会文書	P8209	12-1	豎1冊	パネル
⑱	〔乍恐以書付奉願上候〕(浅間焼け以来諸作出来劣る上、当年5月より9月迄度々の大雨・霖雨により作物根腐りに付、畑永御引方願)	文化5年	1808	11月	福島英一家文書	P0110	1284	継1通	パネル
<b>(5) 供養</b>									
⑲	〔天明三卯年七月八日浅間焼一件留〕(第三八代鎌原茂幸泉左エ門記録)(善光寺施餓鬼供養経木注進)	年不詳			婦恋村鎌原忠司家文書	PF9601	1-19	横半1冊	パネル
⑳	〔浅間山焼崩供養塔石碑銘〕	年不詳			富澤久幸家文書	P0905	154	1冊	複製
<b>3 収蔵史料で振り返る群馬の災害と疫病</b>									
<b>(1) 公文書で見る浅間山の噴火</b>									
㉑	〔火山対策〕	昭和58年	1983		群馬県行政文書	A0190B00	84	1冊	パネル
㉒	〔浅間山火山情報〕	昭和41年	1966		群馬県行政文書	A0181B00	160	1冊	複製
㉓	〔火山噴火(爆発)防災計画〕	平成16年	2004		群馬県行政文書	A0108B00	78	1冊	複製
<b>(2) 近代群馬の疫病対策</b>									
㉔	〔御真影勅語 学校衛生 資金及基本財産 統計・学事年報(学務)〕	明治41年	1908		群馬県行政文書	A0181A0M	2507	1冊	複製
㉕	〔諸会議(郡市長会議, 刑事会議、署長会議、その他)〕	大正8年	1919		群馬県行政文書	A0181A0T	536	1冊	パネル
㉖	〔参考書(医師会、医師会令、阿片法、患者数表、その他)〕	大正9年	1920		群馬県行政文書	A0181A0T	601	1冊	複製
㉗	〔群馬県報〕 訓令乙	大正9年	1920		群馬県行政文書	A0182A00	6460	1冊	複製
㉘	〔伝染病〕	昭和15年	1940		群馬県行政文書	A0182A00	1438 2-1	1冊	複製